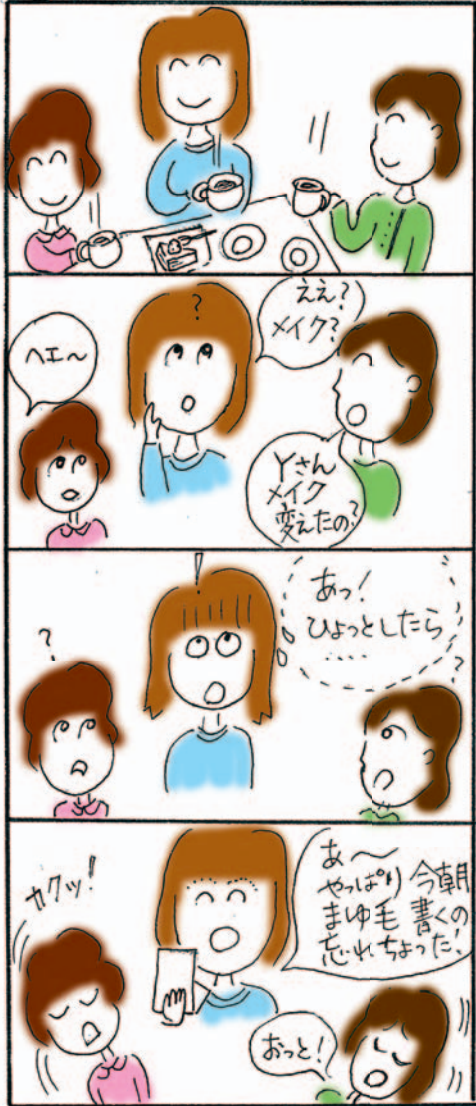


ほのめく

①96 MIX



力走!! 母校のために

来年4月に町内3中学校が1つに統合されことに伴い最後の運動会となった大崎第一中学校。閉校記念種目の『年代別リレー』では、参加者たちはそれぞれの思いをバトンで繋いでいました。

今月の表紙

滝摩郷句

兼題「葉」

老夫婦葉の為に飯しゆば食つ

(唱) 葉せか無や 食わじおつしよつ

西ノ園ひらり

食放題食つしもたち飲んだ痩せ葉

(唱) 痩せんば良かか 旨が一番

諸木小春

目薬ゆば点そち口つずや大と開けつ

(唱) 間違っ口ち 点すしじやなかど

二見愚楽満

痩せ葉ゆ買た後奥様は団子も買つ

(唱) あらいよ誰が 食う団子じやろかい

北村虎王

手遅れい無料で新薬く試さえつ

(唱) どげんされてん 預けた命

上村牛歩

大崎短歌会

兼題秋の雲の頭を踏む

アートの森樹々は茂りて野には花雲
白く浮きモニユメント立つ

児玉チツ

あしたこそきつと今日よりのんびり
と暮らそう夫よも少し楽に

高瀬睦子

ああ四月霧島山の野海棠クロカン
コースもも色に染め

上南紀子

雨あがり昨日咲きしか野の百合は雲
を見上げてもの思つらん

餘利野静子

ああなたとキラキラネーム野望壘ま
た紅里夢なんてもう読めません

大和てるみ

大崎俳句会

休耕田ピンクに染めて蓼の花

坂元ツル

水桶のジャンプ届かぬ雨蛙

宮脇洋子

岩を噛む夏の怒涛や星一つ

内村美恵子

背戸の風一雨慾しや青葡萄

折田スズ

蒲の穂にかくれ流るる水の音

宮下のし

部屋毎に聖書の言葉避暑の家

益倉睦美

蚊取線香つけて草とり始まりぬ

溝口 稔

人権啓発シリーズ

刑を終えて出所した人と人権

刑を終えて出所した人びとやその家族に対しての偏見には根強いものがあり、就職や住居の確保などに際して困難が生じています。出所した人が社会の一員として円滑な生活を営むためには、本人の力強い更生意欲とともに、家族・職場・地域社会などの人びとが偏見や差別意識をなくすことが必要です。